



久しぶりのはされん、フレスポにはびきの園、ハピバールの中で参加しました。玉入れに大玉転がし、ダンスを楽しみました。5年ぶりに羽曳野市の事業所が集まって大いに盛り上がりしました。(大伴)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: [futakami@kagayaku-inochi.com](mailto:futakami@kagayaku-inochi.com) <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



## 古着市

ふたかみ福祉会後援会で古着市を開催します。ぜひ会場へお越しください。

日時: 2023年11月11日(土)10:00~13:00

※当日の天候により、時間を変更する可能性があります。

会場: 翠鳥園横空き地(イズミヤ古市店横)

売り物: 古着、靴、かばん

**雨天中止** 前日に判断いたします。

ふたかみ福祉会のホームページにも情報を掲載させていただきます。URL <https://kagayaku-inochi.com>

古着回収の受付は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先: 072-959-3221 ふたかみ福祉会事務所まで

このまちで暮らしたい  
「障害者生活耕房」(グループホーム)

**ー建設募金のお願いー**

2022年6月openしました!!

新しい暮らしを支える拠点として...

建設募金へのご協力を引き続きよろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(セロキュウキュウ店) 【口座番号】0225417

cafeハピバール

11月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 4日(土)、18日(土)、25日(土)

※23日(木)は営業しています!

★Instagram★

[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar.com)

お問い合わせ先

072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2023年9月】

- ・山本富子
- ・船越音昭
- ・石田陽喜 妹尾睦子 出口哲夫

■寄付

■ボランティア... 垣内秀夫様 垣内享太様

■アルミ缶回収(9月分) ... kg

..... 以上5口  
..... 以上3口  
..... 以上2口

ありがとうございます。

◆2023年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口3,000円 団体会費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

## 産経はばたけアート公募展2023

産経はばたけアート公募展で、なかまの作品が受賞しましたのでご紹介します！！



石田 陽喜さん 「無題」

ハピバールに通所して、4年間。日々のアトリエ活動に取り組まれています。

今回の作品は、無数の線を縦横無尽に走り回っており、元の青の紙が見えなくなるほど、何日もペンを変えながら描いた作品です。「その時間の集積と面白さ、そしてエネルギーを評価したい」というのが選考された理由でした。

梅田のブリーゼブリーゼで数年ぶりに表彰式も行われました。石田さんは初めての表彰式であり、すごくいい経験だったと思います。2日間、作品の展示もして頂き、多くの人に作品を見てもらえました。本当におめでとうございます。



表彰式の様子です♪

佳作

岡脇 真琴さん 「幸せの木」

木の板にアクリル絵の具で描いた作品です。「ファンタジーな世界」をイメージしたようです。ゲームの世界に出てきそうな、すごくキレイな作品ですね！！



高島 美優さん 「目玉焼き」

紙いっぱい描かれた目玉焼きが、すごくかわいい作品ですね。展示会でも、お客さんの目が留まっていた。今回は佳作でしたが、「来年は大賞をとります！」と目標を掲げています。



新井 薫さん 「7、8色の世界」

円を重ね合わせた、とてもキレイな作品ですね。色の世界に引き込まれそうです。画材は自前で、1枚の作品を描き上げるのに1ヶ月～2ヶ月ほどかかるため、毎日アトリエ活動頑張っています！



今年も楽しい思い出になりました☆

今年もホーム祭りの季節がやってきました。今回のイベントは、スイカ割りや魚釣りです。魚釣りは、みんな「全部釣ってやるぞ」と何度も挑戦していました。スイカ割りは、特に女性陣に人気で勢いよく叩き、「楽しい!!」や「ストレス発散や!!」と、みなさん笑顔でお祭りを楽しみました。(吉田)

ホーム祭り

「管理者・主任セミナー」に参加して

9月9日・10日の2日間にわたって行われた『2023年度 大阪障害者センター 管理者・主任セミナー』に参加しました。今年度は久しぶりに対面での研修も行われ、会場には30名程度、そしてWEB参加では119名程度の参加がありました。

1日目はNPO法人福祉広場の池添素氏、佛教大学の岡崎祐司氏、東京都立大学の木村草太氏による講演でした。

1日目の講演の中で強く印象として残っているのは、池添素氏の「豊かに生きる力」発達保障は無数の可能性を引き出す」です。「発達」という視点からお話をし下さる、日々の自身の実践の振り返りをしながら話を聞かせていただきました。例えば、日頃私たちは振り返りをしています。「できていたこと」が「できなくなる」と、どうして?と立ち止まりますが、反対に「できないこと」が「できるようになった」場合の振り返りはしません。しかし「う

まくいった」ことの中にヒントがあるとのこと、「肯定的に見ること」は本人を視ることに繋がります。その気づきを共有していくことが実践の積み重ねに繋がることを改めて学びました。

2日目は、「コロナ禍が浮き彫りにした課題」総合社会福祉研究所ネットワーク調査から」として総合社会福祉研究所の石倉康次先生の講義でした。そして大阪障害者センター事務局の塩見洋介氏の進行で、「新型コロナ感染症への事業所対応と政府への要望内容の変化」「惨事ストレスと支援者ケア」「取材を通して感じた新型コロナ感染症対応の課題」というテーマでシンポジウムが行われました。シンポジウムを受けて、「感染症5類への移行後の実態と課題」の報告がありました。感染症5類へ移行したことにより、「行政が様々な要請・関与をしていく仕組み」から、「個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応」へと変更になりました。新型コロナ感

染症自体は何も変わっていないのに、個人や事業所に判断が委ねられ、自己責任が求められるようになってしまいました。自己責任が当たり前ではなく、国民の生命や健康・暮らしを守る責任と役割が国や自治体にあることを確認し、公的な福祉制度の再構築に向けた共同の運動へどう繋げていくのか大きな課題になると改めて確認されました。本来なら、社会福祉は「公共性を持った営み」のはずですが、どんどん商品化されているという現状があります。市場化と闘うために、「知る」ことを大切にしていきたいと感じました。「学習と共有と議論と連携」を進めながら支援する方を「知る」ということ、そして支援者としての自分を「知る」ことの「自己覚知」を深めていきたいです。また池添素氏が講演の中でおっしゃった、色んな形で多様に生きる「しなやかに生きる」ことを目標として、明日からも実践に向き合う力をも

井上重蔵氏には、当法人の理事長を2012年3月から2016年3月まで勤めていただきました。井上氏には、共同作業所羽曳野園(当法人の設立母体)が設立前の羽曳野に認可作業所を作る会の時代から係わっていたいただき当法人の設立に大きなご尽力をいただきました。

井上氏は、高鷲保育園・高鷲学園の園長を長く勤められ、また、当法人以外にもフレンドハウス(社福・あっと夢)の理事もされており、羽曳野市の地域福祉にも大きく貢献されていました。

9月23日に高鷲学園・高鷲保育園、フレンドハウスとで偲ぶ会を開催しました。当日はご遺族様、100名を超える関係者が集い、井上氏を偲びました。井上重蔵先生ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。(常務理事 石本悦二)

元理事長

井上重蔵氏を偲ぶ会

